

スチレン系熱可塑性エラストマー
ラバロン® 射出成形グレード物性 SJシリーズ

項目	試験法	試験条件	単位	一般・工業部品用途					
				SJ4400B/N	SJ5400B/N	SJ6400B/N	SJ7400B/N	SJ8400B/N	SJ9400B/N
密度	JIS K7112-1999	水中置換法	g/cm ³	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
MFR	JIS K7210-1999	230°C、21.2N	g/10min	0.2	1	3	6	9	17
スパイラルフロー	三菱化学法	220°C、80MPa	mm	1400<	1400<	1400<	1400<	-	-
デュロ硬度A	JIS K6253-1993	-	-	43	53	63	73	80	90
デュロ硬度D				-	-	-	-	-	43
引張100%モジュラス	JIS K6251-1993	3号試験片、 試験速度500mm/min	MPa	0.6	1	1.5	2	2.5	4.4
引張300%モジュラス				1.2	1.8	2.5	3	3.9	5.9
引張破壊強さ				5	6	7	9	10	12
引張破壊伸び				%	900	850	820	800	750
引裂強さ	JIS K6252-1993	切込み無しアングル型	N/mm	19	22	25	30	35	41
圧縮永久歪み	JIS K6262-1993	70°C、22hr	%	35	39	43	48	55	62
永久伸び	三菱化学法	JIS K6251-3号、 100%*10min-10min保持	%	6	8	8	10	12	15
アイゾッド衝撃強度	JIS K7110-1984	ノッチあり、-40°C	KJ/m ²	NB ^(注)	NB ^(注)	NB ^(注)	NB ^(注)	NB ^(注)	NB ^(注)
耐オゾン性	三菱化学法	80pphm*240hr、 40°C静的20%伸長	-	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し
脆化温度	JIS K7216-1990	A法	°C	<-60	<-60	<-60	<-60	<-60	<-60
耐熱温度	三菱化学法	0.3MPa*1hr、20%変形	°C	125	-	135	-	145	-
成形収縮率	三菱化学法	射出成形、MD/TD	%	2.0/1.1	-	1.5/1.1	-	1.2/0.8	-
色	-	-	-	黒/乳白色	黒/乳白色	黒/乳白色	黒/乳白色	黒/乳白色	黒/乳白色

●デュロ硬度Aは、測定における最大値を採用しています。一般に30秒後の値より、5~10ポイント高い値となります。

●表中の物性値は、弊社測定値の代表例であり、保証値ではありません。

●掲載されているグレード以外にも各種取り揃えておりますので、弊社機能性樹脂事業部 マーケティンググループあてご遠慮なくお問い合わせ下さい。

(注)表中のNBはNot Break(非破壊)を表します。

スチレン系熱可塑性エラストマー
ラバロン® 射出成形グレード物性 MJシリーズ

項目	試験法	試験条件	単位	医療・食品衛生用途					
				MJ4300C	MJ5302C	MJ6301C	MJ7301C	MJ8301C	MJ9301C
密度	JIS K7112-1999	水中置換法	g/cm ³	0.89	0.89	0.89	0.89	0.89	0.89
MFR	JIS K7210-1999	230°C、21.2N	g/10min	1.5	1	3	16	26	5
スパイラルフロー	三菱化学法	220°C、80MPa	mm	1400<	-	1400<	-	-	-
デュロ硬度A	JIS K6253-1993	-	-	45	50	60	70	80	85
引張100%モジュラス	JIS K6251-1993	3号試験片、 試験速度500mm/min	MPa	0.8	1.5	1.8	2.5	3.5	4
引張300%モジュラス				1.4	2.3	2.5	3.5	4.5	5.5
引張破壊強さ				10	12	14	15	16	23
引張破壊伸び				%	970	960	920	920	890
引裂強さ	JIS K6252-1993	切込み無しアングル型	N/mm	19	26	30	36	42	59
圧縮永久歪み	JIS K6262-1993	70°C、22hr	%	36	38	40	44	48	48
永久伸び	三菱化学法	JIS K6251-3号、 100%*10min-10min保持	%	5	7	8	10	12	14
耐熱温度	三菱化学法	0.3MPa*1hr、20%変形	°C	125	130	135	140	145	145
成形収縮率	三菱化学法	射出成形、MD/TD	%	2.0/1.1	-	1.7/1.0	-	1.4/0.8	-
食品衛生性	※	-	-	合格	合格	合格	合格	合格	合格
臭い	三菱化学法	80°C*30分過熱の ペレット臭	-	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない

※:昭和34年厚生省告示第370号試験による(n-ヘプタン抽出は除く)

- デュロ硬度Aは、測定における最大値を採用しています。一般に30秒後の値より、5～10ポイント高い値となります。
- 表中の物性値は、弊社測定値の代表例であり、保証値ではありません。
- 掲載されているグレード以外にも各種取り揃えておりますので、弊社機能性樹脂事業部 マーケティンググループあてご遠慮なくお問い合わせ下さい。
- 医療適合性につきましては、個別に弊社機能性樹脂事業部 マーケティンググループあてお問い合わせ下さい。

スチレン系熱可塑性エラストマー
ラバロン® 射出成形グレード物性 FJシリーズ

項目	試験法	試験条件	単位	一般・工業部品・食品衛生用途			
				FJ5350C	FJ6350C	FJ7350C	FJ8350C
密度	JIS K7112-1999	水中置換法	g/cm ³	0.89	0.89	0.89	0.89
MFR	JIS K7210-1999	230℃、21.2N	g/10min	1.5	2	6	10
デュロ硬度A	JIS K6253-1993	-	-	50	60	70	85
引張100%モジュラス	JIS K6251-1993	3号試験片、 試験速度500mm/min	MPa	1.1	1.5	2	3.5
引張300%モジュラス				2	2.4	3	4.5
引張破壊強さ				10	11	11	11
引張破壊伸び			%	900	900	820	700
引裂強さ	JIS K6252-1993	切込み無しアングル型	N/mm	27	28	33	47
圧縮永久歪み	JIS K6262-1993	70℃、22hr	%	44	49	54	61
成形収縮率	三菱化学法	射出成形MD/TD	%	2.0/1.2	1.9/1.1	1.5/1.1	1.3/1.1
食品衛生性	※	-	-	合格	合格	合格	合格

※：昭和34年厚生省告示第370号試験による（n-ヘプタン抽出は除く）

●デュロ硬度Aは、測定における最大値を採用しています。一般に30秒後の値より、5～10ポイント高い値となります。

●表中の物性値は、弊社測定値の代表例であり、保証値ではありません。

●掲載されているグレード以外にも各種取り揃えておりますので、弊社機能性樹脂事業部 マーケティンググループあてご遠慮なくお問い合わせ下さい。